みんなのわ

MINNA NO WA!

第64回

葉山菊花会

秋を代表する花と言えば、やはり菊です。この季節には毎年、全国各地で菊花展が催され愛好家が丹精込めて育てた見事な花が競います。

葉山菊花会が誕生したのは、今から四〇年近く前です。菊花栽培の研究と普及、親睦を目的に集いました。現在の会員は女性三人、男性七人、計十人です。四〇代から八〇代まで年齢はさまざまです。

会の一番の特徴は、開放的でおおらかなことです。いい菊の苗があると、気軽に分け合い、また栽培の仕方なども会員の間では一切、隠し立てをしません。皆で協力し合い素晴らしい菊を育てようとの精神が、会の隅々にまで浸透しているからです。

菊づくりは、「手間ひまを惜しまない」というのが鉄則です。毎日の水やりなど少しでも手を抜くと、すぐに菊花に影響が出るため、「簡単に旅行にも行けません」と笑うのは、入会して十年目の山村常隆さん。

今年は昨年と違い、菊に大きなダメージを与える台風の襲来も少なく「いい花が期待できそう」と、開花を心待ちにしています。

会にとって最大のイベントは、毎年十一月（一～五日）に役場前の花の木公園で開く菊花展です。大勢の菊花ファンでにぎわうこの恒例行事が終わると、研修と親睦を兼ねて日帰りで各地の菊花展の見学に出かけます。

「菊づくりは反省と勉強の連続です。また春が来れば、新たな挑戦の始まりです。しかし、それこそが菊花栽培の一番の面白さです。皆さんも一緒に育ててみませんか」と山村さん。

会では会員を募っています。

葉山歌壇俳壇

◎特選　＊共選

短歌

岡田　保子　選

◎手を重ね温さかよへば安らぐを老いし二人の愛と言はむか　近藤　糺

（評）年を重ね掌を重ね合う晩年の慈味あるご夫婦像が浮かびます。信頼と愛情の思いが、控え目にさらりと表現されて心に染みる相聞歌です。

殻脱ぎしばかりの蜘蛛か柔らかき腹は息づく厨のガラス　米田　宮子

頂きし身の反り返る生きの良い宗太鰹の青き皮引く　中川　弘子

浴衣着て帯の結びは小さきが似合うと鏡はつぶやきかける　山本　ふで

千枚田刈り残されし下二段朱にかがやく曼珠沙華咲く　安藤とみ子

花かげに確かなかたち成しながらニガウリじっと出番窺う　鈴木　榮子

ふとよぎる黄のコスモスのその色にネクタイ編みし若き日ありき　金井　比佐

白百合のにほふ白さよ黄泉つ国の母に贈らば夢にか顕つらむ　渡辺　裕子

ざはざはと鳴る風の音に古代人の歔欷慟哭の声も聞こえむ　（長柄桜山古墳群）多羅　空竹

心臓の模型手にして病むわれに主治医はくわしく手術を語る　（哀悼九月四日逝去）長島　芳

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで（当季雑詠）、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

俳句

沼田葉櫻子　選

◎手が流れ音が流れて風の盆　新井かね子

（評）「風の盆」は、富山県の八尾町で毎年九月一日から三日間行われる民族行事。盂蘭盆の祖霊を祭る行事が風害を防ぎ豊作を祈願する風祭となったものと考えられる。「越中おわら節」を歌い踊る様子を平明に詠んだところが佳い。

ゆくりなく榾火の爆ずる山の宿　近藤　糺

（評）「榾」は冬の季題。山村などで囲炉裏に用いる焚きものである。不意にぱちぱちと爆ぜる榾火の音に、山家の風情が表現された。

振り向くも戻らぬ悔いや彼岸花　片山　久女

酔ふほどに足捕はれし夏祭　熊本　京子

蒼天に雲の一片木守柿　石川　光子

＊死ぬるまで叩きつづけよ鉦叩　多羅　空竹

名月と別れ寝床に入りけり　川崎　虎康

俳句

淺井　一志　選

◎＊死ぬるまで叩きつづけよ鉦叩　多羅　空竹

（評）ひとり静かな秋の夜。鉦叩に聞き入っていたが、生あるもの生きているかぎり頑張れよと鉦叩を励ましている。しかし、振り返ってみれば自分自身にも通ずる思いである。余生いくばくもないが。

一言か二言妻と良夜かな　川崎　虎康

（評）満月の夜の夫婦の姿が見えます。それももう晩年の夫婦です。一言か二言いっただけで通じ合う訳ですから。そこには長く、そして深い交情を感じさせます。月の光りはこの夫婦を包み込んで静謐である。

径に古る夜泣き石とや虫すだく　石川　光子

八木節の一打に弾け秋祭　新谷　幸子

突堤に座し十月を味はへり　熊谷　晃門

星月夜身籠りしこと知らさるる　高梨　久子

萩の花こぼれて鎌倉古道かな　新井かね子

町長と語る トーク広場

第36回

音訳奉仕で、視覚障害者を手助け 十周年を迎えた「葉山やまばと」

町内にはさまざまなボランティア団体があります。今年結成十周年を迎えた音訳の会「葉山やまばと」もその一つです。目の不自由な人々のために、新聞や書籍などをテープに吹き込む音訳サービスに精力的に取り組み、とても喜ばれています。

そこで、会長の池上暎子さんと副会長の山崎幸子さんのお二人に、十年の歩みを振り返りながら、音訳の苦労やこれからの夢などを語っていただきました。

町長　十周年おめでとうございます。実は私の父も中途失明し、物を読むことの大変さを間近で見てきたので、皆さんの活動には本当に頭が下がります。今のご感想はいかがですか。

池上　少しでも視覚に障害のある人のお役に立ちたいと、会員みんなで頑張りました。

町長　利用者も増えているそうですね。

山崎　はい。現在、私たちの音訳サービスを利用している人は一五〇人ほどです。発足当初に比べ、実数で六〇人くらい増えています。

町長　今はどのようなものを音訳されていますか。

池上　定期的なものでは、新聞の連載小説や歌壇、俳壇、読書欄、それに「社協はやま」、「しおさい」、書店のPR誌などです。『ヨット発祥の地』のボランティア団体ということで、ヨット雑誌の「KAZI」も音訳しています。

山崎　それ以外では、利用者の要望に応じて音訳するプライベートサービスも行なっています。こちらは小説やエッセイ、受験参考書などさまざまです。

町長　音訳に当たって、ご苦労も多いですか。

池上さん

池上　一番大変なのが地名や人名の下調べです。音訳は声に出して読み、それをテープに録音するので、正確な読みが大切です。例えば町でも「まち」と「ちょう」の読み方があります。そうしたものは事前に調べなければいけません。まさか、この年になって辞書が手放せないとは思いませんでした。

町長　それは大変ですね。でも、一方で勉強にもなりますよね。

山崎　ええ、いろいろなものを読むので知識が増え、世界が広がります。

池上　もう一つ大変なのが、音訳中の雑音防止です。テープに吹き込む作業は自宅で行うことが多いので、インターホンや電話など、さまざまな生活騒音が入ってしまいます。これを防ぐのが大変です。

山崎　動物の鳴き声などにも注意が必要です。犬やカラス、セミの声などにも気をつけています。声が入ってしまい、音訳をやり直すことも結構多いです。

池上　夏は、雑音が入らないように、音訳中は窓を締め切り、クーラーも切って汗をかきながらテープに吹き込むので大変です。

町長　嬉しいこともあるんじゃないですか。

山崎　鍼灸師をめざす中途失明者の依頼で、専門用語が多い難しい受験参考書を、四苦八苦しながら音訳したことがあります。その後、試験に合格されました。あの時は嬉しかったですね。音訳という仕事に携わって、つくづく良かったと思いました。

山崎さん

池上　一番嬉しいのは、利用者の皆さんから「ありがとう」と言われた時です。それまでの苦労が吹き飛び、「また頑張ろう」という気持ちになります。

町長　最後にこれからの夢を聞かせてください。

池上　音訳団体としては、私たちはまだまだです。十年を契機に、さらに精進を重ねて音訳に磨きをかけるとともに、利用者の皆さんのさまざまな注文にも応じられるよう、音訳の幅も広げていきたいと思っています。

山崎　夢よりも、今はこれまでの歩みをまとめた十周年記念誌づくりに大忙しです。年内の発行をめざして全力投球です。それと「広報はやま」の音訳テープもありますので、ご利用ください。

町長　今日は素晴らしいお話をありがとうございました。皆さんのますますのご活躍を期待しています。

園芸用肥料の無料配布

9月8日公共下水道の汚水処理により発生する汚泥の有効利用で「園芸用肥料」とし、無料配布を行ないました。

外国文化紹介講座

9月9日にハンガリー文化紹介講座が町福祉文化会館で行なわれました。

みんなのこの顔

子育て安心教室

7月14日、9月5日、10日に次世代育成支援行動計画の新規事業として子育て安心教室が行なわれ、親子で体を動かし、楽しいひとときをすごしました。

でんごんばん

◆葉山ステンドグラス工房作品展

11月4日(金)～6日(日)10時～18時　葉山マリーナchapel　問☎876－2323三ツ橋

◆海辺のリーダーになりませんか

11月5日(土)9時30分～16時　葉山港　高校生以上　「ヨット体験とロープワーク指導法」海が好きで子どもの活動をサポートしていただける人　問☎876－2287　葉山マリンキッズ

◆子どものためのオイリュトミー

11月6日(日)10時～11時30分　黒門カルチャーくらぶ（逗子市新宿1－4－7）費用2,000円　シュタイナー教育講演会　幼児の成長とオイリュトミーについて体験しながら学びます　問☎FAX0467－25－6353　豊島（うみのこびと）

◆定例ボランティア活動

11月12日(土)9時30分から　介護老人福祉施設「葉山清寿苑」　どなたでもどうぞ　問☎875－6734大熊(葉山町ボランティア連絡協議会)

◆犬のしつけ教室

11月13日(日)10時～11時30分　南郷上ノ山公園　犬のしつけ教室・飼い主のマナー教室　講師　佐藤美津子さん（ヨコスカドックスクール）

＊飼い主の皆さん、散歩の時は犬の糞を必ず持ち帰りましょう。問☎875－3492本間　875－0119三橋

◆竹林保全体験教室参加者募集

11月13日(日)～来年6月まで（計8回）10時～15時　木古庭その他　定員20人　費用1,000円（8回分・保険料別）竹の間伐を中心に竹製品作り、筍掘りなどの体験教室　問☎878－6275　伊東（三浦竹友の会）

◆海風学園・いちばん星チャリティーバザー

11月13日(日)10時～15時　平成町新・商工会議所会館1・3階　利用者作品、衣料品、バザー券による抽選会など　問☎833－1559　海風学園

◆介護予防教室

11月16日(水)10時～12時　生活クラブ生協葉山センター2階　講師　柳瀬禎子さん（鍼灸マッサージ師）体力測定、転倒予防体操など　費用300円　問☎876－0234生活リハビリクラブ葉山

◆橋本 栄 日本画展

11月21日(月)～27日(日)10時～18時（21日(月)は12時開館、27日(日)は15時30分閉館）横須賀三浦教育会館（京急県立大学駅下車徒歩10分）　問☎824－0683　横須賀三浦教育会館

◆「シルクロード文化交流セミナー」聴講者募集

①11月27日(日)、②12月4日(日)、③12月11日(日)、④12月18日(日)各回14時30分～16時　湘南国際村センター　定員80人（応募者多数の場合は抽選）　費用2,000円（4回分）往復ハガキ（1枚につき2人まで）に行事名、住所・氏名・電話番号を書いて、〒240－0198上山口1560－39(財)かながわ学術研究交流財団　11月15日(火)締切(消印有効)　問☎855－1823

◆「葉山のこみち」秋の探索ツアー

11月26日(土)10時「水源地入口」バス停集合（各自弁当持参）　費用500円（資料代・保険代含む）定員30人（予約制）　水源地～長者ヶ崎まで「こみち」を探索しながら歩きます　問☎875－2818　ＮＰＯ法人葉山環境文化デザイン集団

◆「はやま環境フェスタ」フリーマーケット出店者募集

12月4日(日)(雨天順延11日)、役場駐車場出店料500円　往復ハガキに住所・氏名・電話番号を記入し、11月21日(月)環境課必着　11月22日(火)役場3－1会議室にて10時公開抽選結果はハガキで通知　問☎802－7786藤澤

◆湘南国際村センターで陶芸セミナー

12月17日(土)～18日(日)1泊2日　講師　子安窯　木村芳之助　費用19,500円　ハガキにセミナー名・住所・氏名・年齢・性別、（2人、3人1室希望は同室者の名前）を書いて、〒240－0198　上山口1560－39　湘南国際村協会　陶芸セミナー係　11月28日(月)締切　問☎855－1801　湘南国際村協会

掲載を希望するときには、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課（☎内線333）へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。